

皆さんからのディーパーヴァリーの詩への感謝

2023 年 11 月 28 日

読者の皆さん

感謝の月、おめでとうございます！

感謝の美德は万人共通でありながら、その表現は人それぞれです。私が気づいたのは、さまざまな色合いの感謝を体験し始めると、感謝それ自体がどれほどの贈り物であるかが分かるということです。それは、与え続ける贈り物なのです。

シッダ・ヨーガの道では、グルマーイと一緒にディーパーヴァリーを祝うことでこの月を始めました——グルマーイの詩を読んだり聴いたりし、グルマーイのダルシャンを受け取り、グルマーイと共にディーヤーをともし、グルマーイが子どもたちというのを眺め、インドの新年と一緒に迎え入れました。11 月が深まると、サンガムとして感謝祭の祝日に参加して、この世界のすべての粒子に感謝の波動を共鳴させてきました。

感謝の気持ちを分かち合い、お互いに感謝の気持ちを表現することはとても大切です。先日、ある人がグルマーイに、ニュースを読むと——特にここ数カ月のニュースを読むと——落胆すると話しているのを聞きました。歴史が繰り返すにつけ、人々が憎しみを硬化させ、それを暴力へと転じるにつけて、彼女は自分が希望を失いつつあると感じるのです。しかし、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを訪れると、彼女は気づきの瞬間を得ます。「ああ！ 自分の光を世界に

送ることができるんだ、私は感謝を表すことができるんだ。私にもできる前向きなことがあるんだ」。するとたちまち、彼女の精神は高揚します。

そして、これほど多くの皆さんも前向きな行動を取ったということは、どれほど素晴らしいことでしょうか。ディーパーヴァリーのためのグルマリーの詩の中にあった彼女からの要請を受け取ると、すぐに皆さんはこの世界にどのように光をもたらすかについての自らの詩を書くことを始めました。

既にご覧になっているかと思いますが、この数週間毎日、ウェブサイトでは皆さんの詩を掲載してきました。300以上の詩がウェブサイトに投稿され、そのうち100以上が掲載されました。その中には4歳という若さのシッダ・ヨーギからの詩も掲載されています。インド、オーストラリア、メキシコ、トルコ、イタリア、スペイン、ポルトガル、カナダ、スイス、英国、米国——世界中の本当にたくさんの国——のシッダ・ヨーギからの詩があります。それらの詩の多くは、英語以外の言語で書かれています。

私は、皆さんの言葉と芸術性に感銘を受けました。私たちは皆シッダ・ヨーガの道を歩んでいるのに、一人一人が表現への独自の視点を持ち、自らの内側で目覚めた光を分かち合うそれぞれ特有の方法を持っていることに、私はいつも驚かされます。そして、それが重要なのです——作者の年齢や出身にかかわらず、また、サーダナーのどの辺りにいるかにかかわらず、これらの詩一つ一つが確かに光を発しているのです。例えば、自分の選ぶ言葉にもっと注意深くなることについて、あるいは、他の人と分かち合う笑顔について、自分の創作する芸術について、どのように在るべきか、どのように行動すべきかを自然から示唆を得ることについて、内側に目を向けて意識的に感謝を表現することについて、皆さんは書きました。世界に光をもたらす皆さんのさまざまな方法を目にすること、そして1節か2節の少しの間、さらにどのような努力をしようかと考えを巡らせている皆さんと一緒にいることは、とても感動的でした。

何年にもわたり、グルマ―イに代わって皆さんに何かをしてほしいと招待する時、私はグルマ―イに代わって皆さんに感謝をする栄誉も与えられてきました。感謝を表すことはシッダ・ヨーガの道の伝統であり、グルマ―イが私たち皆に教えてきたものです。特に感謝の月に、この伝統を続けられることをとても嬉しく思っています。

その上、皆さんに感謝することを、皆さんはとても簡単なものにしてくれました。皆さんの詩を読むと、感謝を感じます。これまで取ってきた、あるいはこれから取る有益な行動について皆さんが書く時、皆さんの確信を感じます。

聞いてください、共時的なことがあったのです。最初に皆さんの詩を読み始めた時、私はそれらが花火のようであり、光と喜びの火花とエネルギーのようであるという体験をしました。数日後、ウェブサイトのページが更新されているのを見た時、その画像は…まさにその通り。花火だったのです！皆さんの詩によって点火された火花がすべて合わさって、空全体を明るく照らすことができると思います。

この手紙もまた、今年の皆さんのお祝いにささやかな光でももたらすことができたらと願っています。改めて、あなたの美しい詩をどうもありがとうございました。

心を込めて

イーシャ・サーデサイ

